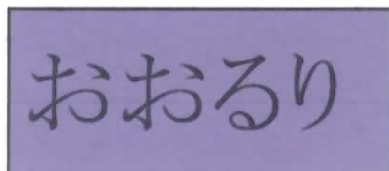


放送大学  
栃木同窓会会報



発行: 放送大学栃木同窓会  
編集: 会報編集委員会  
責任者: 会長 須藤 國夫  
発行日: 令和2年3月31日

ホームページ <http://hosodaigaku-tochigidosokai.jimdo.com/>

### 定期総会

第20回定期総会が令和元年5月19日(日)に宇都宮市の東市民活動センターで開催されました。7名の方が参加されました。平成30年度活動報告及び決算、令和元年度活動計画及び予算、西暦奇数年の役員選出が承認されました。

その後、昼食会を開催して親睦を深めました。

### 主な活動

平成31年3月31日(日)に春季研修旅行を開催しました。8名が参加して宇都宮美術館を見学しました。美術館内のレストランで昼食をとり歓談しました。午後は全員で長岡百穴を見学し、次に瓦塚古墳を見学しました。前方後円墳1基と多数の円墳がありました。

令和元年10月19日、20日(土、日)に会津地方研修旅行を開催しました。行きはJR宇都宮駅から日光駅、そして東武鉄道と野岩鉄道経由でJR会津若松駅です。帰りは会津若松駅から磐越西線で郡山駅、東北線でJR宇都宮駅まで、そこで解散でした。栃木からは4名が参加し、夕食時の懇親会は6名で楽しく歓談しました。翌日は現地の歴史探訪で、大塚山古墳群と鶴ヶ城周辺を散策しました。福島学習センターの学生サークル会津学知会と福島同窓会とのコラボで実施されました。合計19名の参加でした。写真A参照。

令和元年10月27日(日)に学生サークル放送大学を愛する会とのコラボで懇親会が開催されました。宇都宮駅近くの居酒屋での飲み会で6名が参加しました。なお、放送大学を愛する会は解散となり、懇親会は、今回の第31回で惜しまれながら終了となりました。

令和元年12月3日、4日(土、日)に研修旅行を開催しました。今回は各同窓会の親睦会である いちちょうの会との共催で実施されました。栃木市内を2日間にわたって見学する内容の濃いものでした。連合会会長の経験者が6名も参加する豪華メンバーで、5つの同窓会から合計20名が参加しました。(栃木からは11名が参加しました。)写真B参照。3ページに記事あり。

その他、栃木学習センターでの入学式時に学生サークルと共催で歓迎茶話会や試験終了時の茶話会をそれぞれ2回ずつ開催しました。

### 連合会

第23回総会が令和元年5月25日(土)に千葉市の放送大学本部図書館で開催されました。全国から43の同窓会の代表が参加しました。会長に神奈川の佐栞(サキ)さん、副会長に石川の北野さんと茨城の矢野さんが選任されました。

放送大学に同窓会が設立されてから丁度30年となりました。放送大学同窓会創立30周年記念誌の発行と記念行事の開催が予定されています。



私の

# 放送大学

378

## 放送大学は生涯学習の場

島田 新一(栃木学習センター)



放送大学入学のきっかけは定年が近づいたある日、娘が何気なく放送大学への入学を勧めたことである。定年延長して半年経った頃、リーマン・ショックで経済は暗転、その半年後に退職した。

さて、これから膨大な自由時間をどう使うかなと考えていた時、思い出したのが娘のひと言。直ぐに入学手続きを済ませ、晴れて大学生になった。実に四一年ぶりのことである。

最初のコースは「社会と産業」。その昔、開校したばかりの高等専門学校に入学した私であったが、法学・政治・経済等を学ぶ夢はずっと持ち続けていた。

最初の学期は九科目を登録した。その中に高橋和夫教授の「現代の国際政治」があった。私の最も好きな分野である。映像が流れ始める前のバック・ミュージックに心は弾み、また無駄なく洗練された教材の構成、教授の語り口には感動すら覚えた。これが長年学び

たかった世界だ――”。

そして、あつという間に二年が過ぎて卒業。「生活と福祉」コースに再入学したある日、高橋教授が面接授業で栃木に来られた。授業の終わりに「一緒に写真を」とお願いしたと



ころ快諾いただき、他の学友とともに撮った写真は私の宝物である。時は流れて、その写真が何故かBS放送でも流れて、またまた驚いた。

その後、「心理と教育」、「自然と環境」、「情報」を経て、今は「人間と文化」に籍を

置いている。コースを離れても興味ある授業(例、死生学のフィールド、グローバル・イングリッシュ等)を受けている。

学びたい時に、いつでもどこでも学べるのは放送大学の魅力の一つ。学ぶために授業料を払い、試験に受かろうと努力する姿そのものが素晴らしいと思っている。また、人生経験豊かな学友の話を聞くのも勉強になる。

全コース卒業には最短でも一二年。小学校入学から高校卒業までの期間と同じだ。卒業後も再入学しては新たな学びができる放送大学は、まさに生涯学習の場に相応しい。

(しまだ しんいち)

- 一九四八年 鹿児島県生まれ
- 一九六八年 鹿児島工業高等専門学校卒業。自動車会社、関連会社に勤務。
- 二〇〇九年 放送大学教養学部入学。「社会と産業」コース等、五コース卒業。
- 二〇一九年 放送大学教養学部再入学。「人間と文化」コース在学中。

令和元年12月3日、4日「栃木同窓会」研修旅行が開催されました。

宇都宮市 佐藤 孝明

令和元年10月に発生した台風19号により被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて今回の「栃木同窓会」研修旅行は、放送大学同窓会「いちょうの会」との合同企画として、栃木市内「蔵の街」を2日間かけて散策し、観光施設を巡るコースとなりました。台風の影響もあり催行が危ぶまれましたが、予定通りの開催となり、2日間合わせて20人に参加いただきました。顔見知りである栃木学習センターのメンバーも多く、不慣れな場所での行程ながら不安なく旅行を満喫することができました。

JR 両毛線栃木駅に集合後、各自の自己紹介を済ませ、出発しました。栃木駅の周辺には徒歩で散策できる観光スポットが密集しています。今回の旅行で一番興味があった巴波川の遊覧船は、台風の影響が残り12月5日から営業再開とのこと。とても残念でしたが、川沿いの「小江戸」を思わせる街並みは健在で、水面に浮ぶ鴨や緩やかに泳ぐ大きな鯉と見事に調和していました。「お菓子処・菊屋」名物のどら焼きを頬張りながら、穏やかで素晴らしい景色を堪能しました。

次のスポットである「塚田歴史伝説館」も巴波川のすぐそばにあります。ここは映画やTV番組のロケ地としても有名なのだとか。江戸時代の豪商・塚田家の歴史を今に伝える展示品の数々は目を見張るものでしたが、ここでは「三味線おばあさんロボット」に驚かせられました。人形劇の語り部もついにロボットの時代が来たかと感じました。横に座っているおじいさん(聞き手)もロボットでしたが、参加者の一人と見間違ふほどでした。

その後、「片岡写真館」と「とちぎ蔵の街美術館」を訪れました。美術館では「栃木初の写真師・片岡如松展」が開催されていました。写真に残る100年以上も前の日光は、今とは違う情趣に溢れていました。また展示されている写真の中には明治時代の巴波川の氾濫を記録しているものがあり、とても印象深かったです。歴史は繰り返すものであり、今後の教訓にしなければならないと実感しました。

今回の旅行を通じ、色々な食べ物を口にする機会がありましたが、一番のお気に入りには「油伝味噌」の味噌田楽です。こんにゃくと味噌の味のバランスが絶妙で、栃木市に行ったらまた食べたいと思いました。

最後に、楽しい旅行の計画・実施にあたられた会長にお礼申し上げますとともに、栃木同窓会並びにいちょう会の皆様におかれましても、年の離れた若輩の身を温かく受け入れていただき、本当にありがとうございました。放送大学の最大の魅力は世代間交流だと思います。今後も機会があればイベント・行事に参加し、見識を広げていきたいです。これからも栃木同窓会と放送大学同窓会の発展に微力ながら協力させていただきます。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



写真A 会津大塚山古墳にて



写真B 岡田記念館翁島別邸前にて

同窓会では、オリジナルピンバッジと まなびーピンバッジを販売しております。どちらも1個500円です。ご希望の方は須藤あてご連絡ください。